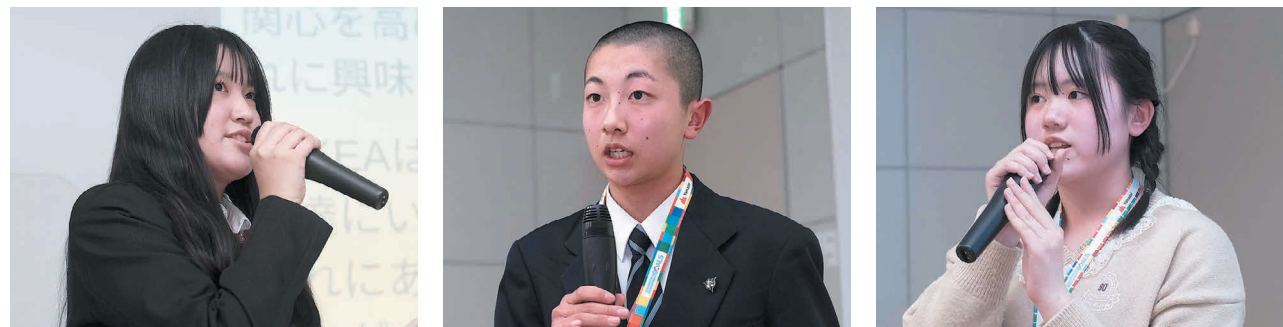




(上) 戦争についての考察を発表する山城さんと、話に耳を傾ける参加者 (下右) 食の魅力について話す金谷さん (下中) 自身が考えたビジネスの構想を語る正木さん (下左) 円安を乗り越える企業の工夫について報告する藤崎さん

参加者の声

探究が、考え深める機会に

4人の学生さんの発表を聞き、SDGsについて探究する活動が考えを深める機会になっているのと感じました。弊社で研修した藤崎友菜さんは、弊社の事業についてSDGsと関連付けて理解し、聞き手に伝わりやすいように発表してくれたと思います。



日本旅行東北
鈴木優希さん

みやぎSDGs塾って？

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラム。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成する「標準コース」と、具体的な事例の発展に向けて議論する「実践コース」の2講座が開講され、2021年から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから！

**みやぎSDGs
Farm**

賛同企業

募集中!!



【申し込み・問い合わせ】

河北新報社営業局

TEL / 022-211-1318

MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp

実践コース

企業と行政のさらなる協働の可能性を考える



県が主催した「SDGs研修会」の様子(県総合政策課提供)

「みやぎSDGs塾・実践コース」では毎回、企業のSDGs担当者や自治体職員などが集まり、情報交換やディスカッションを行っています。

この日の「実践コース」では、2月25日に宮城県が主催した「SDGs研修会」の様子について、県総合政策課の佐藤洋平さんなどが報告しました。報告によると、研修会には県職員や民間企業の担当者など40人以上が参加し、「脱炭素」「障害」「食」などのテーマに基づき、官・民それぞれの視点から課題解決に向けたアイデアを出し合いました。報告を聞いた「実践コース」参加者からは、「行政と企業の協力の可能性が感じられる」「普段から、行政との協働を検討する企業が相談しやすい仕組みがある」とよいなどの感想や意見が出されました。

またこの日の「実践コース」では、大日本印刷の阿部巧さんが、2025年大阪・関西万博の展示の一つとして同社が手掛ける「想いをつなぐ未来レター」について紹介。この企画は東日本大震災後の復興に関して寄せられたメッセージを万博会場内に投影するもので、阿部さんは「SDGs塾」参加者にメッセージの投稿を呼びかけました。

行政や企業が情報提供

地域の若者の考えに耳を傾ける

「みやぎSDGs塾」第4ターム前期・第4回の標準コースと実践コースの講座が、2月27日に河北新報社で開催されました。標準コースでは4人の高校生がそれぞれの探究活動の成果をSDGsの視点を交えて発表しました。

SDGsを通じて交流

仙台市立仙台高等学校では「総合的な探究の時間」を活用し、SDGsに関連するテーマで探究活動を展開しています。今回の「みやぎSDGs塾」では同校の1年生4人が探究の成果を発表しました。

「戦争」学び、知識の重要性に気づく
山城ちひろさんは「戦争と未来」のテーマで行った探究の成果を発表しました。仙台市戦災復興記念館の資料などを通じて戦争体験者の思いに触れ、戦争の残酷さを再認識したという山城さん。さらに貧困や飢餓、教育の崩壊といった課題と戦争との関連についても資料を通じて学びを深めました。「学ぶ中で、今の平和が当たり前が続くものと勘違いしている自分に気づいた。まずは知識を得ることが重要だと感じた」と話しました。

「円安に負けない企業の取り組み」
昨今の円安と物価上昇が企業活動に及ぼす影響に着目した藤崎友菜さんは、日本旅行東北などの企業で実施した研修の成果を報告しました。

日本旅行東北での研修で、コロナワクチン接種会場の設置に関する事業、他社の社内イベントを支援する事業など、旅行業の枠を超えた同社の事業を知ったと話す藤崎さん。新型コロナウイルス感染症の流行や円安の影響で旅行商品のニーズが低下しても他の事業で売上を確保する工夫について、関心を高めたようでした。

「食の魅力について考える」
食や栄養に興味を持つ金谷萌花さんは、食品卸売業の国分東北での研修成果を報告しました。

金谷さんは、東北地方の食材・食文化を生かした加工食品や、フェアトレードを重視した輸入商品など、国分東北が扱う食品についてSDGsに関連付けて紹介。「味や栄養だけでなく、その商品を通して企業の思いも、食の魅力の一つなのだと感じた」と話し、その魅力を知ることが商品を選ぶ視点になると考えを述べました。

「経験をもとにビジネスモデルを考案」
正木勇仁さんは「家だと勉強に集中できない」「学校や塾は先生から一方的に教わるだけ」などと感じた経験をもとに、「塾カフェ」というスタイルのビジネスを提案しました。利用する学生は塾のように教材の提供を受け、カフェのような空間で自習しつつ、分からないことはカフェ店員を兼ねた講師に質問できるといったもの。

第4ターム参加者(敬称略)

【みやぎ生活協同組合】高橋美咲、石田詩歩、乙戸沙織【日本旅行東北】鈴木優希【荒町商店街振興組合】庄子康一【YES工房】大森文広【エントワデザイン】佐藤寛和【オフィス塩竈】加藤貴伸【国分東北】千田李奈【タイハク】水戸伸弘、加藤ひなの【大日本印刷】阿部巧、小泉一也、矢島迅人、大沼真洋【日建リース工業】木村浩一【日立ソリューションズ東日本】大柴千翔【宮城県民共済生活協同組合】松野友紀、鹿野大、加藤雅己、今野凌汰、菊池佑輔、宮崎和奏【ミライトス】鈴木圭介【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【仙台高等学校】渡部真路【尚絅学院大学】坂本真斗、佐藤翔太【オブザーバー】紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有

賛同企業・団体・個人

株式会社 日立ソリューションズ東日本

都道府県民共済グループ
宮城県民共済

DNP
大日本印刷



独立行政法人
環境再生保全機構



日本製紙株式会社

みやぎ生協

山一地所



エントワデザイン

国分東北

日建リース工業株式会社

日本旅行東北
NIPPON TRAVEL AGENCY TOHOKU

ミライトス株式会社
Brand Communications & Services

特別協力 SDGsとうほく

協力 宮城県 JICA東北

WACO CREATE

荒町商店街振興組合

YES工房

オフィス塩竈

いなか道の駅やしまや

多賀城工場地帯連絡協議会

尚絅学院大学SDGsセンター